



十五夜

～お月さまこんにちは～



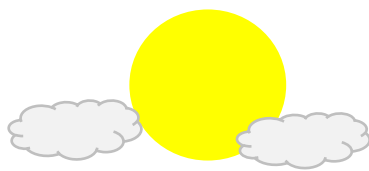
9月に入り、お月見についての絵本を読むと、「お団子たべたいね」「お月さまみんなでみたいね」と話す子どもたち。「いつでも見られるようにお月さまお部屋で作ろうよ」という声があがりました。

大きな紙に丸い線を描き、用意が出来ると、あっという間に黄色く塗り上げるぱんだ組さん。その早さには驚きました。



せんせい、もっと上にはって!!

これでお屋でもお月見が出来るね!と目を輝かせる姿が何とも言えず可愛らしかったです。「次は粘土でお団子を作ろう」「果物もお供えしよう」と次々に想像力を膨らませ、作っていました。



楽しいお月見ができました



そーっとのせてね



十五夜の由来は諸説あるようですが、収穫祭を意味したり、豊作を願うという説もある様です。そのため、ぱんだ組では十五夜の9月13日(金)に野菜の苗植えを行いました。



今回植えたのは、ブロッコリーと芽キャベツです。葉っぱの匂いをかぐと「全然匂いがしないね」という子が殆どでしたが、野菜が苦手な子は「くさい・・・」と鼻をつまむ姿も見られました。天候不良の為、プランターでの苗植えは室内で行いましたが、四人一組で協力しながら、積極的に取り組むぱんだ組さんでした。



しばらくすると、晴れてきたため、畑に向かい、ブロッコリーの苗を植えました。ポットから苗をとる作業も上手になり、慎重な表情でゆっくりと取り出す事が出来ていました。

